

2018 国際農村医学会・日本農村医学会 学術総会スケジュール

2018		Venue A (TFT ホール 500)
October	このセッションの英語発表は、全て同時通訳(質疑応答も)されますので、多くの方のご参加をお待ちしております	
10th (Wed) Day 1	9 a.m.	開会式 (合同) 国際農村医学会 (IARM)・日本農村医学会 (JARM)
	10 a.m.	会長講演 (JARM): 羽田 明 (千葉大学大学院医学研究院・公衆衛生学講座教授、日本農村医学会副理事長) ゲノム医学研究の臨床応用の現状と今後の展望
	11 a.m.	会長講演 (IARM): 新谷周三 (茨城県厚生連 JAとりで総合医療センター院長、日本農村医学会理事長) 「日本の地域医療における神経疾患患者の在宅ケア」 (1) 長期の生存を決定づける因子は何か? (2) 人工的栄養管理の有効性と倫理性について」
	12 a.m.	(昼休憩)
	13 p.m.	日本農村医学会 第67回通常総会・表彰式
	14 p.m.	① Dr. Kerstin Nilsson (スウェーデン) : Lund University, Division of Occupational and Environmental Medicine 「高齢の農業労働者にとって健康で持続可能な働く労働環境について: スウェーデンにおける展望」
	15 p.m.	② Dr. Dimitris Tsoukalas (ギリシア) : President of the European Institute of Nutritional Medicine: E.I.Nu.M. 「世界の高齢社会、慢性疾患と改善可能なメタボリック危険因子のインパクト」
	16 p.m.	特別講演 (JARM): 近藤克則 (千葉大学 予防医学センター教授) 「健康の社会的要因と農村医学 - JAGESプロジェクトからの示唆」
	17 p.m.	③ Dr. René Thyrian (ドイツ) : Group Leader, German Center for Neurodegenerative Diseases (DZNE) 「ドイツの地域医療における認知症へのケア対策: 人口動態の変化とこれらに対応する考え方」
	18 p.m.	④ Prof. NYGÅRD (フィンランド) : Faculty of Social Sciences Health Sciences, University of Tampere 「高齢化と持続可能な雇用労働形態」

11th (Thu) Day 2	9 a.m.	⑤ Prof. Claudio Colosio (イタリア) : Department of Health Sciences of the University of Milan 「労働人口の高齢化の中で、労働衛生と安全、職業病の診断と予防に対する新しい挑戦」
	10 a.m.	⑥ Prof. Petar Bulat (セルビア) : University of Belgrade Faculty of Medicine 「高齢化するセルビアの地域社会: 必要とされる健康ケアとその解決法の検討」
	11 a.m.	⑦ Dr. Shengli Niu (ILO) : Senior Specialist on Occupational Health, International Labour Office (ILO) 「農業における職業病リスクと疾病の予防について」
	12 a.m.	(昼休憩)
	13 p.m.	国際農村医学会(IARM)・理事会/総会
	14 p.m.	Prof. Hans-Joachim Hannich : 国際農村医学会 (IARM)・会長
	15 p.m.	⑧ Dr. Joachim Breuer : 国際社会保障協会 (ISSA)・会長 「地方・地域における社会安全保障へのチャレンジに対するISSA (国際社会保障協会) の回答」
	16 p.m.	⑨ Dr Istvan Szilard (ハンガリー) : Department of Operational Medicine, University of Pécs Medical School 「ハンガリーにおける高齢社会: その実態と健康に対する社会政策に中、これからのチャレンジと努力」
	17 p.m.	⑩ Dr. Zoltan Katz (ハンガリー) : Assistant professor, University of Pécs, Medical School 「ハンガリーの高齢化したロマ少数民族: 彼らへの社会的 (健康) ケアシステムの現実、これからの挑戦と展望」
	18 p.m.	
	19 p.m.	会員懇親会 (TOCセンター: TFTホールから徒歩5分)

12th (Fri) Day 3	9 a.m.	⑪ Dr Kyeong Soo Lee (韓国) : Department of Preventive Medicine, Yeungnam Univ. College of Medicine 「韓国における健康保険システム (高齢者に対する長期の介護保険システムを含む) の現在と未来の展望について」 ⑫ Dr Moo-Sik Lee (韓国) : Department of Preventive Medicine, College of Medicine, Konyang University 「韓国における認知症をもつ高齢者対応と対策: 認知症に対する国家的戦略とアクションプラン」 ⑬ Prof. Eunok Park (韓国) : College of Nursing, Jeju National University 「韓国における在宅ケア看護の現状」
	12 a.m.	(昼休憩)
	13 p.m.	教育講演 (JARM): 伏見清秀 (東京医科歯科大学大学院 医療政策情報学分野教授) 「超高齢化社会に対応するための医療介護Big Dataの活用」
	14 p.m.	⑭ Prof. Nanako Tamiya (日本) : Department of Health Services Research, University of Tsukuba 「戦後の日本の医療ケア体制の俯瞰と、日本の超高齢化社会の到来の中で医療/長期ケアに対する政策の展望」
	15 p.m.	⑮ Dr. Ashok Vikhe Patil (インド) : Immediate Past President of IARM 「地域の高齢者への特別な取り組みに於いて、地域の医療と健康を守るための世界的チャレンジ」
	16 p.m.	閉会式、表彰式、東京宣言 (合同)